

# KAIUN

総合物流情報誌  
**海運**  
2025.4  
2026.3



2025年4月号～2026年3月号

## バックナンバー集

業務に役立つ情報誌

海運、造船、海上保険、マーケット、内航など幅広く網羅

2025年 No.1171 **4月号**



COVER  
BlackMac/Shutterstock.com

特集	<b>伸びるか船社の重量物輸送</b>	16
	インタビュー 海外船社との関係構築に加え 輸送以外の事業参加も検討 ● NYKバルク・プロジェクト株式会社 プラント・モジュールグループ グループ長 長谷川 年億 氏	18
	海外の大型貨物対応に備えて まず内航で経験・実績を蓄積 ● 商船三井ドライバルク株式会社 常務執行役員 辺見 耕司 氏、コマーシャルエクゼクティブオフィサー 三俣 貴士 氏	22
	26年に国産多目的船を投入 運用を通じ船型開発に生かす ● イースタン・カーライナー株式会社 米州部部长 取締役 神谷 晋吾 氏、在来・多目的船部部长 常務理事 石上 久和 氏	26
	海外の輸送案件獲得も視野に センコーグループ各社と連携 ● 株式会社オーナミ 取締役社長 森本 勝一 氏、取締役管理部長 高田 秀和 氏	30
特別企画	寄稿 世界の海上輸送における主要なチョークポイントの概況 ● 公益財団法人日本海事センター 企画研究部 研究員 後藤 洋政	38
グラフィア	パピリオン「未来の都市」がお披露目 商船三井など12者が最新技術を紹介 ● 大阪・関西万博	8
グラフィア	日本初の砕氷機能搭載 北極域観測船「みらいII」が進水 ● JAMSTEC、JMU	12
造船首脳会見	事業拡大を見据え生産能力拡大へ ● 株式会社名村造船所	44

2025年 No.1172 **5月号**



COVER  
©TimeDepot.Twn/  
Shutterstock.com

特集	<b>造船ニッポン 脱炭素に勝機を見出す</b>	19
	インタビュー 海事産業の発展に必要なのは 今治・協業型ビジネスモデル ● 今治市海事都市交流委員会 会長 檜垣 幸人 氏 (今治造船株式会社 代表取締役社長)	20
	新燃料船ならではの課題と対峙 収益性の確保が大きなカギ ● ジャパン マリンユナイテッド株式会社 代表取締役社長 廣瀬 崇 氏	24
	中韓に水を空けられないよう 海事関係者の開発力の結集を ● 一般財団法人次世代環境船舶開発センター 業務執行理事 今出 秀則 氏	28
	外部の知見も積極的に吸収 自社に最適な新燃料船を見極める ● 内海造船株式会社 取締役社長 寺尾 弘志 氏	32
	低・脱炭素技術にもトライしつつ 変化に備えて力を蓄えていく ● 尾道造船株式会社 代表取締役社長 中部 隆 氏	36
バリシップ 開催記念 我が社の一押し 環境技術	ヤンマーパワーテクノロジー株式会社 代替燃料エンジンに全方位で対応 積極的な技術開発で豊かな未来へ ダイハツインフィニアース株式会社 社名変更し新たなスタートを切る メタノール他次世代燃料機関に注力 ナブテスコ株式会社 船舶データとAIが導く、より安全で効率的な船舶運航	14 15 16
KAIUNアプローチ	五感フル稼働で未来社会を体感 大阪・関西万博がついに開幕 財閥系パピリオンでは海事関連企業も参加	8
グラフィア	アンモニア燃料船の実証が完了 成果を祝う記念式典を開催 ● 日本郵船	12
就任会見	ターゲットは国際競争力の強化 ● 日本海事協会	40



COVER  
©OVKNHR/Shutterstock.com

特集	条約対応からビジネスの新潮流まで シップリサイクルの今を知る	インタビュー	13
		規制見直しや二重適用問題など 今後も国際的な議論は続く	14
		●国土交通省 海事局 海洋・環境政策課 シップ・リサイクル対策調整官 高橋 信行 氏、 検査測度課 専門官 緑川 靖史 氏	
		主要解体国の体制整備が進む 条約適合を超える先進的な動きも	18
		●一般財団法人日本海事協会 環境部 主管 成瀬 健 氏、船舶リサイクル施設審査員 谷口 竜也 氏	
		船の循環型経済実現に向け 目指すは高水準での船舶解体	22
		●日本郵船株式会社 バルク・エネルギー事業統轄グループ グループ長代理 兼 製鉄原料グループ 調査役 片山 潤一 氏、 脱炭素グループ 環境規制チーム グループ長代理 機関長 今井 俊次 氏、 企画グループ 海運政策チーム チーム長 盆子原 渉 氏	
		高品位の鉄スクラップ需要が増加 船舶解体は貴重な供給源に	26
		●一般社団法人日本鉄源協会 主任研究員 林 誠一 氏 (株式会社鉄リサイクルング・リサーチ 代表取締役)	
		特別企画	データで読み解く海運・造船決算2024
グラフィア	設立30周年を記念し祝賀会を開催 星港進出で競争力強化、純資産は1100億円超 ●Kumiai Navigation	8	
業界ウォッチ	内航海運のガイドライン 持続的発展に向け“じわり浸透”	30	
KAIUNアプローチ	内航船員確保に向け議論の場を 全海運「外国人船員に係る勉強会」最終報告書の真意	46	
特別寄稿	船員法の今日的課題について ●一般社団法人海洋会 東京支部長 石田 隆丸	48	



COVER  
©ニングル / PIXTA

特集	海事広報・海事教育の効き目	インタビュー	27
		知ってもらふ機会さえ作れば 海運の重要性は間違いなく伝わる	28
		●一般社団法人日本船主協会 企画部広報室 大森 一司 氏、齋藤 寛子 氏	
		出前講座や進水式の現場で 子どもたちの意識の変化を実感	32
		●一般社団法人日本中小型造船工業会 業務部・企画調査室 中根 巳生男 氏、業務部・総務部 内山 沙也加 氏	
		海事産業の認知度が高まれば 授業でも取り扱いやすくなる	36
		●浦和大学 社会学部 現代社会学科 特任教授 安原 輝彦 氏	
		若手社員に聞いてみた。海事産業との出会い、その魅力	
		ありのままの船の魅力を伝えたい	40
		●日本郵船株式会社 広報グループ 報道チーム 二等航海士 色川 諒太郎 さん	
船員の魅力は日々のワクワク感	42		
●株式会社商船三井 人事部 海上人事チーム リードスタッフ 二等航海士 中尾 友海 さん			
OB訪問で強い憧れを抱き海運業へ	44		
●川崎汽船株式会社 人事グループ 採用育成チーム 田山 華江 さん			
造船の規模感や社会的意義に感銘	46		
●三菱造船株式会社 造船設計部 多川 青 さん、船舶技術部 岩木 聡汰 さん			
特別企画	海事産業で導入が進む AI 技術 一課題克服の切り札になるか	58	
グラフィア	バリシップ2025 過去最大規模で開催 環境対応や自動運航技術に注目集まる	10	
グラフィア	新造VLGCの命名式を実施 LPGと重油の両燃料に対応 ●Kumiai Navigation	18	
業界ウォッチ	どんな仕事?どんな業界?誰がなる?どう稼ぐ? Q&Aで読む シップブローカーの基礎知識	48	



COVER  
©GreenOak/Shutterstock.com

特集

水素社会 — 「つくる・はこぶ」の現在地—

15

総論

水素社会実現へ取り組みが加速

16

インタビュー

グリーン水素をMCH方式で輸送

18

独自の水素製造技術も開発

- ENEOS株式会社  
水素事業推進部 水素サプライチェーン企画グループ グループマネージャー 根岸 義教氏

再エネ由来のグリーン水素に特化

22

NZからの海外輸出で事業化を狙う

- 株式会社大林組 グリーンエネルギー本部 統括部長 技術士(建設部門) 秋 林 鎬 氏

中型船による商用化実証を経て

26

建造ラインナップを拡充

- 川崎重工業株式会社 エネルギーソリューション&マリンカンパニー  
船舶海洋ディビジョン長 執行役員 荻野 剛正氏

製造から供給まで各レベルで前進

30

実証や研究開発はさらに発展へ

- 千代田化工建設株式会社  
水素事業部 事業開発セクション セクションリーダー代行 中西 保天氏、  
企画・商務グループ 商務戦略リード 加藤 光晴氏

特別企画

デジタル人材確保・育成への道

43

インタビュー

自社の経営戦略に基づいて 必要となる人材やタスクの議論を

44

- 株式会社三菱総合研究所  
人材・キャリア事業本部 兼 政策・経済センター 主席研究員 横山 宗明氏

チェンジリーダーの育成を最重視 DXをリードできる存在を増やす

48

- 株式会社商船三井 技術・デジタル戦略本部 DX共創ユニット 副ユニット長 兼 技術・デジタル統括ユニット 技術・デジタル戦略チーム チームマネージャー 大野 修平氏

グラフィア

邦船3社が自動車船見学会を実施

8

海の日周辺に海や船のイベントが集中開催

- 日本郵船、商船三井、川崎汽船

J S E

社告 販売物及びセミナー受講料価格改定のお知らせ

42



COVER  
©demekin / PIXTA

特集

内航船員を惹きつける職場とは?

17

総論

若年層が増えるも船員不足は継続

18

インタビュー

若年船員の定着へ勤務体系を改善

20

海陸のローテーションも検討

- 井本商運株式会社 代表取締役社長 井本 隆之氏

社内横断で働きやすい船を検討

24

船員のための改善策は100項目超

- 明和海運株式会社 代表取締役社長 中田 篤氏、  
取締役 船舶部長 絹漣 倫玄氏、執行役員 営業部長 鈴木 吉伸氏

コミュニケーションを重視し

28

船員が安心して長く働ける職場に

- 旭タンカー株式会社 執行役員 船員部長 小林 英樹氏、船員部 副部長 一乃 洋子氏

船主の船員雇用を多角的に支援

32

採用から育成まで幅広く対処

- 日鉄物流株式会社 内航海運本部 運航管理部 部長代理 山口 茂樹氏

特別寄稿

コンテナ船輸送・市況のポイント ~2025年前半の動向を振り返る~

44

- 神奈川大学 経済学部 現代ビジネス学科 教授 松田 琢磨

KAIUNアプローチ

子供向け船員体験施設がオープン

10

海事産業PRへの有効な一手として期待

- 日本郵船、商船三井

造船首脳会見

JMUとの相乗効果で増産へ

38

日本造船の世界シェア回復を図る

- 今治造船株式会社



COVER  
©Mariusz Bugno/  
Shutterstock.com

特集

さあ来るぞ、近未来船

電気運搬船

蓄電池を使って電気を運搬  
海上に電力系統を構築する

●株式会社海上パワーグリッド 代表取締役社長 大西 英之氏

ウインドハンター

風力エネルギーを船上で  
グリーン水素エネルギーに変換

●株式会社商船三井 エグゼクティブフェロー 山口 誠氏

原子力推進船

船上に次世代原子炉を搭載  
安全・高効率な技術で脱炭素を実現

●コアパワージャパン株式会社  
代表取締役 石井 基樹氏、  
Group General Counsel and Vice President Legal Mike Pierce 氏、  
Vice Presenter Corporate Finance Matthew Forrest 氏

空飛ぶ船(表面効果翼船)

海面すれすれを飛行する船  
時速300kmで貨物や人を運ぶ

●株式会社FaroStar 代表取締役 星 尚男氏

巻頭インタビュー

首尾一貫した船主経営とこれからの海運・造船市場

●瀬野汽船株式会社 代表取締役社長 瀬野 洋一郎氏

グラフィア

パナマがナショナルデーにあわせて万博で式典

海事産業でも日本との結束を強調 レオン・在神戸パナマ総領事も挨拶

特別インタビュー

重要度が高まる海底鉱物資源

レアアース泥・マンガンノジュール国産化の期待と課題

●東京大学工学部長 大学院工学系研究科長 教授 理学博士 加藤 泰浩氏

造船首脳会見

生産体制を強化し造船復興に貢献

●株式会社大島造船所



COVER  
©Tawansak/Shutterstock.com

特集

海上保険 ~海事産業を取り巻くリスクと責任~

寄稿

WRECKHIREを中心とした 定額補償契約の解説

●三井住友海上火災保険株式会社  
グローバル損害サポート部 四国海損グループ 石田 大悟

強制労働問題と海上保険

●東京海上日動火災保険株式会社 海上業務部 シニアエキスパート  
IUMI(国際海上保険連合) 理事、経済人コー円卓会議日本委員会 理事 新谷 哲之介

電子妨害と情報偽装の動向 および事故対応に関する一考察

●損害保険ジャパン株式会社  
海上保険金サービス部 船舶保険金サービス課 飯干 友太

Inter-Club Agreement (ICA) の概要と最新の改訂

●日本船主責任相互保険組合 (Japan P&I Club)  
損害調査第1部 チーフスペシャリスト 齋藤 丈夫

特別企画

ダイジェストで知るIMO  
国際海事機関

IMOはどのような組織?

国際海運の共通規則を定める司令塔

MSC(海上安全委員会:Maritime Safety Committee)

船舶の安全運航に関わる規則を対象

日本も積極提案、議論をけん引

MEPC(海洋環境保護委員会:Marine Environment Protection Committee)

GHG排出削減が重要テーマ

代替燃料への転換図る新制度が合意

LEG(法律委員会:Legal Committee)

多岐に亘るテーマを法の視点で議論

代替燃料やサイバー攻撃、自動運航も

グラフィア

水素エンジンの陸上運転に成功 世界に先駆けて開発が進む

●川崎重工、ヤンマーパワーソリューション、J-ENG

Maritime Scenes

「船の絵を描きたい」が生み続ける良循環



COVER  
©GreenOak/Shutterstock.com

特集

海運・造船・港湾・税関

それぞれが進む“スマート化”

インタビュー

データやデジタルツインの活用で複雑化する船の課題を解決する 16

●株式会社MTI 代表取締役社長 鈴木 英樹氏、常務取締役 工学博士 安藤 英幸氏

先端技術で建造期間を短縮 現場に適したシステムの開発が鍵 20

●ジャパンマリンユナイテッド株式会社 商船・海洋・エンジニアリング事業本部 生産センター 生産イノベーショングループ グループ長 木治 昇氏

関係者との連携を深めDXを推進 効率と持続可能性を実現する港へ 24

●東京都 港湾局 港湾経営部 振興課長 小野澤 太一氏

理想的な検査をするなら税関の枠を超えた連携が不可欠 28

●財務省 関税局 関税課 税関調査室 課長補佐 齋藤 和幸氏、税関調査室 課長補佐 大塚 高規氏

特別企画

一海事産業に大変化をもたらすかー AIエージェント 39

寄稿

AIエージェント技術の台頭と海事産業への戦略的活用 40

●富士通株式会社 チーフデジタルエコノミスト 金 堅敏

インタビュー

AIエージェントの活用で海事産業は大きく飛躍できる 44

●Noahlogy株式会社 代表取締役社長 福重 佑亮氏

グラフィ

船員家族会をマニラで開催 3000人が参加 安全運航へ一致団結 8

●商船三井

グラフィ

RORO船「プリンセス ベル」が就航 船員の労働環境にも配慮した最新鋭船 12

●北星海運

J S E

第57回「住田海事賞三賞」が発表 11

海上保険の形成過程を歴史的観点から編んだ書籍が受賞

J S E

日本海運集会所からの新刊紹介 2025年版「Outlook」が発売 38



COVER  
©voyata/Shutterstock.com

特集

海事産業・展望2026

寄稿

ドライバルク市場 32

●株式会社商船三井 ドライバルク事業戦略部 BI・人事戦略チーム チームマネージャー 岩田 晴奈

コンテナ船市場 34

●神奈川大学経済学部 教授 松田 琢磨

原油タンカー市場 36

●日本郵船株式会社 調査グループ バルク・エネルギー調査チーム チーム長 分島 俊一

原油市場 38

●ENEOS総研株式会社 エネルギー経済調査部 シニアアナリスト 佐久間 敬一

LNG市場 40

●独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) 調査部 LNG情報チーム 主任研究員 芝 正啓

自動車市場 42

●株式会社三菱総合研究所 ビジネスコンサルティング本部 マネージャー 平井 翔、チーフコンサルタント 野呂 義久

造船市場 44

●株式会社みずほ銀行 産業調査部 自動車・機械チーム アナリスト 齋藤 翔

外国為替市場 46

●住友商事グローバルリサーチ株式会社 経済部 シニアエコノミスト 鈴木 将之

米国経済 48

●丸紅米国会社ワシントン事務所 シニアリサーチマネージャー 阿部 賢介

中国経済 52

●株式会社日本総合研究所 調査部マクロ経済研究センター 副主任研究員 室元 翔太

東南アジア新興国経済 56

●株式会社大和総研 経済調査部 シニアエコノミスト 増川 智咲

ロシア・ウクライナ情勢 60

●防衛研究所 地域研究部米欧ロシア研究室 室長 山添 博史

中東情勢 64

●慶應義塾大学 法学部 教授 錦田 愛子

グラビア	自動車船火災を想定 国内初の船陸合同消防訓練を実施 ●川崎汽船	12
グラビア	2026年に向けた一字は「新」と「転」 集会所が年末パーティーを神戸・東京で開催 ●日本海運集会所	18
年頭所感	●一般社団法人日本船主協会 会長 長澤 仁志氏 ●一般社団法人日本造船工業会 会長 檜垣 幸人氏 ●日本内航海運組合総連合会 会長 栗林 宏吉氏	69 74 86
J S E	日本海運集会所からの新刊紹介 25年版「コンテナ輸送と就航状況」が発売	30

2026年 No.1181 2月号



COVER  
©Mariusz Bugno/  
Shutterstock.com

特集

総論

海事産業の進化を支える日本のスタートアップ 18

インタビュー

ドップラー・ライダーで風を可視化  
海運のゼロエミ達成にも貢献 20

●メトロウエザー株式会社 Founder / CEO 代表取締役社長 古本 淳一氏

独自技術で船の部品需要を予測し  
メーカー・船船管理会社双方に利益 24

●株式会社MarineSL 代表取締役 福島 健太氏、代表取締役 志野 安樹氏

育まれた産業と伝統を尊重しながら  
今治から新規事業を生み出す 28

●株式会社SUNABACO 代表取締役 中村 良氏

特別企画

サルベージ ースペシャリストが語る海難救助の今ー 41

インタビュー

船や海難の変化に対応しながら 規模・能力をいかに維持するかが鍵 42

●日本サルベージ株式会社 取締役 サルベージ業務部長 兼 技術開発部長 大久保 次郎氏、  
門司支店 次長 技術師長 脇田 典尚氏

様々な現場から知見を取り入れより安全で効率的な救助作業へ 46

●深田サルベージ建設株式会社 大阪支社 サルベージ課 課長 長谷川 和也氏

巻頭インタビュー

資源を運ぶ・使うだけではない サプライチェーン構築にも貢献 8

●川崎汽船株式会社 取締役 代表執行役社長 五十嵐 武宣氏

造船首脳会見

今治造船がJMUをグループ化 生産や購買でもシナジーを発揮 14

●今治造船株式会社、ジャパンマリンユナイテッド株式会社

2026年 No.1182 3月号



COVER  
©Sven Hansche/  
Shutterstock.com

特集

新卒採用の現場 ー人事のポリシーを訊くー 11

インタビュー

求める人財は一貫して自律自責型 12

採用活動を通じ海運の魅力発信も

●株式会社商船三井 人事部 採用チーム チームマネージャー 村田 渚氏

経験に基づく人間性を尊重 16

信頼でつながる海陸の仕事

●川崎汽船株式会社 人事グループ長 村松 亮介氏、海事戦略グループ長 竹内 幸太郎氏

“自ら考え行動できる人材”に重点 20

採用のゴールは入社後の納得感

●NSユナイテッド海運株式会社 総務グループマネージャー 秘書・人事チームマネージャー  
部長 石原 望氏

長期的視野で働ける人材を重視 24

足元の課題はキャリアパスの提示

●飯野海運株式会社  
執行役員 人事部長 荒井 敦氏、人事部 人材開発課 課長 佐井 泉水氏

特別企画

寄稿

本格稼働直前、排出量取引制度の基礎解説 30

●脱炭素成長型経済構造移行推進機構 (GX推進機構)  
理事 (カーボンプライシング担当) 須藤 幸郎

グラビア

自動運航コンテナ船が世界に先駆けて商用運航を開始 8

●日本財団 ほか

KAIUNアプローチ

膠着化か? “物流2024年問題” JX総研が定点観測 その対策と現状 40

読切企画

山縣論文に見る戦時下の海運体制 42

以下の定期シリーズも掲載しています。

旅と船／竣工船フラッシュ／せんきょう(日本船主協会)／研修講座・セミナーのご案内／  
CLOSE UP／NEWS Pick Up／造船ニュース／ブローカーの窓から／内航ニュース／  
新刊紹介／LOOK BACK KAIUN／スタッフ通信

※所属・役職等は発行当時のものです。

コーポレートサイト (<https://about.jseinc.org>) もご覧ください。

## 年間定期購読のご案内

KAIUN(海運)は1922年の創刊以来、100年を超えて広く海事関連諸産業の方々にご愛読いただいております。

海運のみならず、造船、荷主、海上保険、マーケット、内航など海事を取り巻く諸産業の現状や課題、展望、あるいはその時々  
の業界トピックを中心に、第一線の実務家の皆様にご協力いただきながら、皆様の業務にお役に立つ情報誌として企画・編集に取り組んでおります。

購 読 料

年間購読料：12冊(月刊)

18,480円 (税抜価格/送料込)  
16,800円

●1冊からもお求めいただけます。  
1,540円(税抜価格1,400円/送料込)

2026年3月31日現在

### [定期購読のお申し込みフォーム]

期 間 ・ 冊 数	年	月から1年間	／	毎月	冊
貴社名・部課名	貴社名				部課名
お 名 前					
ご 住 所	〒				
ご 連 絡 先	TEL :		FAX :		
	E-mail :				
	※E-mailでお申し込みの際には、表題の欄に「KAIUN定期購読申し込み」とご記入ください。				

お申し込み  
お問い合わせ

一般社団法人 日本海運集会所 総務グループ

TEL:03-5802-8361 FAX:03-5802-8371 E-mail:order@jseinc.org